資料５

戸別収集実験事業における検証内容及び検証スケジュール

検証内容			検証スケジュール											
			令和７年									令和８年		
検証項目		検証手法	４月	５月	６月	７月	８月	９月	10 月	11 月	12 月	１月	２月	３月
燃やせるごみの収集量	収集量（t）	データ分析（収集日報等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
燃やせるごみの組成	不適正排出混入割合（%）	データ分析（ごみ組成分析調査）							○					
	啓発シール使用枚数（枚）	データ分析（収集日報等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
戸別収集のメリット	排出者責任の明確化	データ分析（アンケート調査等）			○	○			○					
	ごみの減量化・資源化													
	ステーション維持管理の負担感の軽減													
	ごみ出しに関する負担感の軽減													
	不法投棄やポイ捨て対応件数の変化													
	まちの美観の改善													
	収集職員による見守り効果の発生													
	事業者の排出改善	データ分析（事業実績報告等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		データ分析（排出指導記録）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
戸別収集のデメリット	収集方法変更への適応の発生	データ分析（アンケート調査等）			○	○			○					
	プライバシーへの懸念の発生													
	防犯面への懸念の発生													
	鳥獣対策への負担感の発生													
	道路交通上の支障の発生													
	コミュニティの希薄化													
戸別収集のニーズ	継続希望（件）	データ分析（アンケート調査等）			○	○			○					
収集体制	作業時間（分）	データ分析（収集日報等）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	収集箇所（箇所）													
	事故件数（件）													
	収集業務の負担感の発生	データ分析（アンケート調査等）			○	○			○					
	収集経費（円）	データ分析（シュミレーション等）				○	○	○	○	○	○	○	○	○
	収集車両台数（台）													
	収集人員（人）													